中山11R 第28回 中山牝馬ステークス(GⅢ)

(ローレル競馬場賞) 4歳以上オープン 牝馬 ハンデ 発走15:45 芝1800

馬番	馬名	斤量	騎手
1	チェレブリタ	54	蛯名
2	ウエスタンビーナス	54	江田照
3	ニシノブルームーン	53	北村宏
4	コロンバスサークル	53	田中勝
5	レインダンス	54	柴田善
6	サンレイジャスパー	53	難波
7	レジネッタ	55	吉田豊
8	ジェルミナル	55	福永
9	マイネレーツェル	55	三浦
10	ウェディングフジコ	54	吉田隼
11	リビアーモ	52	勝浦
12	ショウナンラノビア	54	岩田
13	アルコセニョーラ	55	武士沢
14	ブラボーデイジー	56	松岡
15	ブライティアパルス	53	後藤
16	ザレマ	56	安藤勝

本紙の見解 好条件そろったブラボー

不良の福島牝馬S、川崎エンプレス杯の勝ち馬ブラボーデイジー。良馬場のヴィクトリアマイル、愛知杯②着もあるが、持ち味はパワーの先行力。距離も千八がベストで、道悪競馬が2週続いた小回り中山の今回は好条件がそろった。展開面に不利はないし、56キロのハンデも不安なし。重ハンデ馬の活躍が目立つレースでもある。【波乱含み】

11R

馬単
14⇄8、14⇄11、14⇄15、8⇄11、14⇄4、14⇄16、14→10

3連単 フォーメーション
1着 14 → 2着 4 8 10 11 15 16 → 3着 4 8 10 11 15 16 (30点)

3連複
8-11-14、8-14-15、4-8-14、8-14-16、8-10-14、11-14-15、4-11-14、11-14-16、10-11-14

レース展開

【初距離千八で②がどう出るかだが、ブラボーデイジーの四角先頭十分。着実に迫る⑯、鋭く伸びる④⑧。ゴール前は激戦】

- 逃げ:②⑮
- 好位:⑭⑫ ⑯⑩ ①
- 中団:⑧⑤④ ⑨ ⑦③
- 後方:⑬⑪ ⑥

平均ペース

データ

過去の実績	ハンデ有利	距離の適性	攻め馬状態
7	8	4	1
8	7	3	4
14	10	5	11
9	1	7	14
5	12	8	16

【ポイント】

▽過去10年の勝ち馬10頭中9頭は55キロ以上。仕上がっていれば昨年の牝馬三冠③③⑥着ジェルミナル55は有力。最近1年間で重賞4連対ブラボーデイジー56は小差。一昨年の桜花賞馬レジネッタ55、芝に戻ってザレマ56も圏内。最近掲示板に載れないアルコ55、マイネ55は一枚落ちか。

▽54キロ勢ではウェディングが連穴候補。②③着タイプだがしぶとさが生きる展開なら。チェレブリタ、レインは混戦に望み。叩いたショウナン、ウエスタンは千八でどうか。

▽例年は前走重賞組が優勢だが53キロのコロンバス、ブライティアは勢い非凡。波乱と見ればマーク必要。中山巧者のニシノは使い込んだ方が良く8歳サンレイは上積み疑問。伏兵は昨年0秒5差で元気なリビアーモ。最軽量52キロ。

うまやのはなし

①チェレブリタ〔押さえ〕
○佐藤助手＝前回の勝ち馬は別格だったが、この馬もよく差を詰めていると思う。具合はいいので、展開ひとつでは。

②ウエスタンビーナス〔着か〕
○鈴木助手＝ダート適性の差が出た前走は度外視可能。芝に戻る点で期待したいが、距離がどうか。スタミナは問題ないが、集中が持続できるかが鍵。

③ニシノブルームーン〔気配注〕
○鈴木伸師＝いつも通り、速い稽古は1週前に済ませたが、文句ない動きだったし、態勢はOK。前回に復調の兆し見られたし、荒れてきた今の馬場も歓迎のクチ。上位を狙いたいね。

④コロンバスサークル〔差なし〕
◎小島太師＝前回はなかなかの切れ味だったね。少し疲れも出たが、ジックリ調整して今回も好状態。ハンデも想定内だったし、鞍上も手の内に入れてくれている。楽しみなんだ。

⑤レインダンス〔上位可〕
○増井助手＝いいころの感じに戻りつつある。前回は追い出して馬場を気にしたもので度外視できる。良馬場なら見直せる。

⑥サンレイジャスパー〔着まで〕
△高橋成師＝やはり千六は忙しい。千八が合うし、道悪が残って時計のかかる馬場になれば。

⑦レジネッタ〔連下に〕
○浅見助手＝前回は勝ち馬の脚がすごかったが、この馬もよく伸びていた。この距離でも脚をタメて運べばチャンスはある。

⑧ジェルミナル〔好勝負〕
◎田代助手＝以前より体に幅が出て、攻めを積んでも減らなくなった。自分でレースを作る器用さもあり、良馬場なら楽しみ。

⑨マイネレーツェル〔好走も〕
○五十嵐師＝1週前にビシッとやって、直前セーブするいつものパターンでデキは維持。追い比べの形ならもっとやれる。

⑩ウェディングフジコ〔再注目〕
○斎藤助手＝前走伸び切れなかったのは、距離なのかな。千八はベストの条件だし、芝・ダートも問わない馬。すぐに前走の疲れは取れて好状態を維持、ハンデも手ごろで改めて期待。

⑪リビアーモ〔小差〕
○高橋裕師＝終始外へ振られた昨年のこのレースで通用のメドはついているし、今回の体重増も成長分。当時よりさらに力をつけているからね。出足で極端に置かれなければ…。

⑫ショウナンラノビア〔一変も〕
○岡田師＝前回は休み明けだったし、ゲートひと息で自分の形にならなかった。叩いた効果は見込めるから、スムーズなら。

⑬アルコセニョーラ〔力ある〕
○畠山助手＝牡馬相手の前走も内容は悪くなかったからね。アテにしづらい気性ではあるが、いいころのうるささが戻ってきて、徐々に復調気配は確か。限定戦なら前走以上に走れるはず。

⑭ブラボーデイジー〔圏内〕
◎音無師＝前回ジョッキーがうまく乗ってくれてダートもこなしたが、芝の方がいい。折り合いさえつけば勝負になるはず。

⑮ブライティアパルス〔注意〕
○平田師＝中山コースは合うと思うし、ハンデも53キロ。秋華賞④着だから、実績もヒケは取らない。平常心で臨めればいいところがありそう。

⑯ザレマ〔連下に〕
○音無師＝距離が合うと思って

柏木の単複連

初勝利は7戦目と遅かったが、その後6戦3勝でオープン入りしたコロンバスサークル。本格化している。⑥着の昨年よりパワーアップしているブラボーデイジー本線。

4⇄14、4⇄8、14→8、4→15、4→3、4→1、4→16

単④ 複④

血が駆ける 山野浩一

チューリップ賞では1着から3着までがキングカメハメハ産駒で、3頭のうち最も人気の低かったショウリュウムーンが勝った。この週は他に5頭もの産駒が勝ち、クロフネを抜いて一気にリーディングサイヤーランキングでもトップに立ったが、どうやら今年はキングカメハメハの年になりそうだ。牡馬にもローズキングダムがいるし、何よりもこの時期にショウリュウムーンのような馬が成長してくるのが層を厚くしている。もともと仕上がりは早く、混戦で勝負強く、芝でもダートでも良く、短距離から長距離まで力を発揮するブラボーデイジーはダートで牝馬戦最高レースを勝ってきた。好調時には勢いに乗れるクロフネ産駒。

―― グリーンチャンネル解説者 ――

黒津紳一
昨秋の復帰後、苦しんでいた折り合いもスムーズ。スローを唯一伸びた前回に復調の兆し見られたニシノブルームーン。得意の中山でスローはないこのメンバー構成なら差し切りに期待したい。

桧原正行
直線で前が壁になりながら、反応鋭く抜け出して上がり33秒6。前走の勝ちっぷりが圧巻だったコロンバスサークル。流れに乗ってロスなく立ち回れれば、GⅢのここでも切れ味通用。

中山11R TMイチ推し ①チェレブリタ

軽快な走りで伸び出色 地力をつけた

11R 調教

	1600	1000	800	600	200	コース・脚いろ

①チェレブリタ 栗P良 64.0 50.4 37.7 11.2⑧馬なり先
25栗坂高亮 533 393 132馬なり先 2栗坂助手 609 448 148馬なり
3栗坂高亮 539 387 127末強め併 7栗坂助手 587 419 130馬なり
10栗DP良川島 64.9 50.7 37.8 11.2⑧馬なり併
(古500万アイアムピカイチ馬なりの内3Fより併入)
↗ プール併用。直前の伸びが光り、態勢は整った。【A】

②ウエスタンビーナス 美坂 助手 ―― 37.6 12.1 G前強
10美坂助手 533 377 119G前強
→ 軽く追った程度で上々の伸び脚。気分良く走れば。【B】

③ニシノブルームーン 美坂 北宏 51.2 ―― 12.6 馬なり
17美坂助手 528 392 133馬なり 21美坂助手 532 395 132馬なり
24美坂助手 500 367 124一杯追併 28美坂助手 522 389 131馬なり
3美坂北宏 496 360 125馬なり併 10美坂助手 517 382 131馬なり併
(障未勝ドンヤマト馬なり併入)
→ 先週スピード感満点の動き。重さなく力は出せる。【B】

④コロンバスサークル 南P良 63.5 49.5 36.6 12.4⑧馬なり
3南CP良助手 64.4 49.8 36.9 12.6⑦馬なり
10南CP良助手 62.0 48.8 36.0 12.6⑤一杯追
13美坂助手 628 477 133馬なり
→ 中間も好時計を連発。馬体減りなく体の切れ抜群。【A】

⑤レインダンス 栗P良 68.3 52.4 38.9 11.8⑦馬なり
28栗坂助手 577 423 138馬なり 3栗坂藤康 548 402 129末強め
7栗坂助手 581 425 142馬なり 10栗坂助手 539 ― 131一杯追
→ 稽古で目立たなくても不安はない馬。力は出せる。【B】

⑥サンレイジャスパー 栗CW良 △80.5 65.5 51.5 38.1 12.5⑥馬なり
24栗CW良難波 △87.0 72.0 57.2 42.6 14.4⑥楽走に
3栗CW良難波 △83.6 67.7 53.0 38.5 12.4⑦馬なり
10栗CW不難波 △83.2 66.5 51.9 37.9 11.9⑦強めに
→ 調教ほどレースで動けない現状。一変となると…。【C】

⑦レジネッタ 栗坂 助手 58.4 42.9 12.6 馬なり
26栗坂助手 566 399 123馬なり 3栗坂助手 537 389 130叩一杯
7栗DP良助手 73.0 57.8 42.1 11.6⑨馬なり
10栗坂助手 581 420 128馬なり
→ 不安定な面を残すものの、末脚は見劣らない馬。【B】

⑧ジェルミナル 栗坂 福永 54.3 38.8 12.0 一杯追
25栗坂鮫良 561 410 126馬なり
3栗CW良福永 △81.5 66.5 51.7 37.8 12.1⑥一杯追先
10栗CW不福永 △84.2 67.7 53.0 38.2 12.0⑥馬なり
→ 久々でも軽快なフットワーク。仕上がって要注意。【B】

⑨マイネレーツェル 栗坂 和田 ―― ―― ―― 一杯追
17栗坂助手 545 395 126馬なり 24栗坂国恭 520 ― ―馬なり
4栗坂国恭 521 375 124一杯追 10栗坂助手 571 411 130馬なり
→ じっくり調整して状態は悪くない。前走以上可能。【B】

⑩ウェディングフジコ 南P良 69.6 54.6 40.2 12.7④馬なり先
3美坂調師 590 426 138馬なり 7美坂助手 572 422 144馬なり
10南CP良吉田隼 67.3 51.9 37.9 13.3⑧一杯追併
(古500万ハーレムスウィング強めの内併入)
→ ビシッと追えたのは元気な証拠も、瞬発力に翳り。【B】

⑪リビアーモ 美坂 助手 50.1 35.9 12.0 一杯追先
10美坂助手 539 380 118一杯追併
(三未勝シンビオシス一杯併入)
→ 1秒近い追走からキレのある伸び脚。好調キープ。【A】

⑫ショウナンラノビア 栗坂 助手 55.1 40.1 12.6 馬なり
4栗CW稍助手 △81.6 67.2 53.7 40.3 12.9⑥馬なり
10栗DP良助手 △77.6 63.4 50.7 37.7 11.9⑧強めに
↗ 叩いた効果で素軽さアップ。今度はもっと動ける。【B】

⑬アルコセニョーラ 南W稍 △85.2 69.3 55.2 41.4 13.3⑨馬なり
26南BW稍武士沢 △85.1 69.0 54.3 40.6 13.1⑧馬なり
4南BW稍武士沢 △84.5 67.8 53.0 39.0 12.5⑨一杯追
10南BW稍武士沢 △86.1 69.8 55.2 40.8 12.3⑨強めに
→ 長めの稽古を積まれたが、中身が入らず覇気欠く。【C】

⑭ブラボーデイジー 栗坂 生野 52.0 38.3 12.6 一杯追
10栗坂生野 524 389 129強めに
→ 引き続き気配上々。スピード・パワーとも十分。【A】

⑮ブライティアパルス 栗坂 助手 50.8 37.7 13.4 一杯追
9栗坂助手 636 461 144馬なり 10栗坂助手 545 398 136G前追
→ もっと動いても良かったが、勢いに衰えなく順調。【B】

⑯ザレマ 栗坂 デム 53.1 38.8 12.6 馬なり
7栗坂助手 572 416 137馬なり 10栗坂助手 519 385 131強めに先
(古オープンドモナラズ一杯を追走1.1秒先着)
→ 中身の濃い併せ馬を消化。芝に戻れば軽視禁物。【B】

データ室

❶馬連平均＝1070円
▽①②人気は3連対だけで、⑥人気以下が5連対。波乱度大。

❷年齢別連対数
▽4歳＝4、5歳＝2、6歳＝3、7歳＝1。

❸ハンデ
▽トップハンデ〔2028〕。勝った2頭はともにGⅠホース。

❹ステップ
▽連対全馬が中5週以内のステップ。6頭は京都牝馬S組。

◆ヒント◆⑤レインダンス

中山牝馬ステークス 過去5年

年場所 距離 馬場頭数	1着 斤量騎手通過 性齢 枠
17中山 1800 良16頭	ウイングレット 55田中勝 牝四
18中山 1800 良16頭	ヤマニンシュクル 56四位 牝五
19中山 1800 重16頭	マイネサマンサ 56蛯名 牝七
20中山 1800 良16頭	ヤマニンメルベイユ 53柴山 牝六
21中山 1800 稍16頭	キストゥヘヴン 56.5横山典 牝六

日刊競馬 株式会社日刊競馬新聞社